

# ご あ い さ つ

2023年（令和5年）の世界の年平均気温は、観測史上最も高くなりました。同年7月には、国連の事務総長が、「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が到来した」と表明し、危機的状況の回避を訴えました。我が国においても、猛暑日、熱帯夜の日数の増加や、豪雨災害の頻発など、各地で気候変動による深刻な影響が発生しています。

こうした状況の中、国においては、2024年（令和6年）5月に第六次環境基本計画を策定し、気候変動をはじめとした現下の危機を克服することで、持続可能な社会の構築をめざしています。

本市では、温室効果ガスの排出や食品ロス、プラスチックごみなどの多様化する環境問題を迅速に解決し、持続可能な社会を未来の世代に引き継いでいくため、本年3月に「第二次福山市環境基本計画（第2期計画）」を策定しました。

また、8月から「福山ローズエネルギーセンター（ふくやま環境美化センター）」が本格稼働し、府中市及び神石高原町の燃やせるごみを広域処理するとともに、ごみの焼却に伴う熱を利用した高効率な発電を行っています。

こうした低炭素な電力を「福山未来エナジー株式会社」を通じて、本市をはじめ、備後圏域内の公共施設に供給することで、再生可能エネルギーの地産地消に取り組んでいます。

今後も、市民、事業者、行政が一体となって、「みんなで創り 未来につなぐ 豊かな自然と快適な暮らしが調和したまち 福山～持続可能な社会の実現をめざして～」の実現に向けて、取り組んでまいります。

本書は、「第二次福山市環境基本計画」の年次報告書として取りまとめたものです。

環境負荷の少ない持続可能な社会の構築をめざす市民の皆様の理解と関心を深め、具体的行動を踏み出すための一助となれば幸いです。

2024年（令和6年）9月  
福山市長 枝広直幹

